

第1部 基調講演

李啓充先生「医療安全とインフォームド・コンセント」講演要旨

2000年に米国科学アカデミーが出版した「To Err Is Human」において、過誤は「プランが意図通りに遂行されなかった」、あるいは、「目的達成のためのプランが初めから誤っていた」事例と定義されている。一方、インフォームド・コンセント(IC)は「医療者と患者がゴールを共有し、そのゴールを達成するための診療プランを協同で作成するプロセス」であり、医療過誤は「医療がIC通りに遂行されなかった」あるいは「当初のICが誤っていた」事例と定義される。医療安全の追求と、IC等に代表される患者の権利の保障とは、表裏一体の関係にあるのである。

〈李啓充先生 略歴〉

1980年、京都大学医学部卒業。1987年、京都大学大学院医学研究科修了。1990年、ハーバード大学医学部／マサチューセッツ・ジェネラル・ホスピタル研究員。1993年、同講師。1998年、同助教授。2002年 同退職、文筆業に。2014年、市立恵那病院内科（再）研修医。2015年、大原総合病院内科部長。2016年11月より川崎協同病院 呼吸器科部長。

著書に『アメリカ医療の光と影』（医学書院）他、訳書に『インフォームド・コンセント』（学会出版センター）他。